

マネ協だより

第6号 令和4年1月

◆年頭あいさつ◆

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、郡上森林マネジメント協議会事業にご理解ご協力を賜り有難うございました。昨年も新型コロナウイルスは収まらず、難しい経済環境がなかなか改善されない状況にある中、ワクチンの接種が進み、感染者が少なくなり、緊急事態宣言がひとまず終わるなど、わずかながら明るい兆しもありました。マネジメント協議会においても事業を遂行するにあたり、一昨年よりも計画した事業が進行出来ました事に感謝申し上げます。

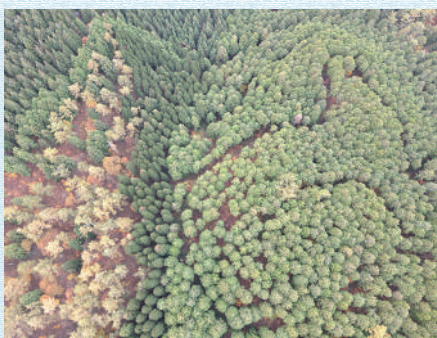
令和4年も、厳しい年が予想されますが、本年も格段のご協力をお願いすると共に、より佳き年になるよう皆様方と共にご祈念致します。

【ドローンの活用】

○ドローンの空撮画像を林地状況やオルソ画像と照合し、材積推定や作業打合せ、路網開設等の利用に、また、意向調査事業地の選定や施業方法に活用の検討がされています。



皆伐地



施業地



伐採地

【意向調査委託事業】

○森林の経営管理が行われていない森林について、郡上市に施業委託の意向を調査する事業の地区座談会を開催しました。

事業地区：大和町島、八幡町小那比、八幡町尾崎、大和町下栗巣、和良町沢



大和町島(8/26)



八幡町小那比(10/13)



八幡町尾崎(10/19)



八幡町尾崎(10/20)



大和町下栗巣(1/11)



和良町沢 (1/14)

【生産性向上技術指導】

○森林組合や素材生産事業体の協力のもと、技術指導が終了しました。熱心な受講により生産性が3割～4割程向上した素材生産事業体がありました。



施業前ミーティングの進め方



検知指導



広葉樹採材指導



材の見極め



採材指導



効率的な施業の進め方

【森林境界明確化事業】

○字絵図や森林簿、航空写真等の情報、過去の施業履歴、聞き取り調査等を行い、所有者立会で杭設置、その後測量を行い境界の明確化を実施しています。

事業地区：八幡町吉田、白鳥町中西、大和町栗栄、八幡町穀見、八幡町腰細



市打合せ



聞き取り調査



現地立会



境界立会



境界杭設置



境界測量

郡上のスマート林業が進む予感！③

【林業の現場で活用できる「ぎふ森林情報WebMAP」の公開】

森林の調査、資源管理の省力化、効率化を図るためには、森林内の情報をデジタルで把握し、森林整備や路網整備の計画に活用していくことが大切です。従来は、岐阜県のホームページ「ぎふふおれナビ」(<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2264.html>)から、見る事ができました。

この度、林業関係者向けに現場においてもスマートフォンやタブレットで地形、傾斜、地質等を確認できる「ぎふ森林情報WebMAP」を森林研究所と森林文化アカデミーが作成し、下記のとおり公開されました。これにより、仕事の質が変わります。ぜひ使ってみてください。快適に動くと思います。

1 WebMAPのアドレス

<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/shiyou/sinrinwebmap.html>

2 公開するWebMAP

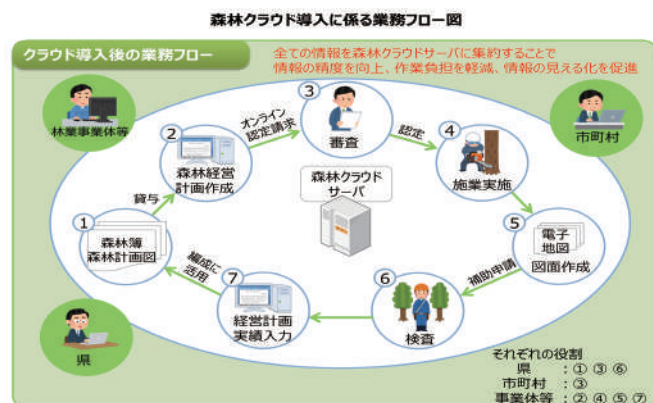
CS立体図、傾斜区分図、地形図、航空写真、地質図、断層図、崩壊跡地形分布図など、それぞれの地図の重ね合わせ表示や3D表示、面積や縦断面計測などができ、利用用途に応じて活用が可能です。



【森林クラウドシステム稼働】

岐阜県では森林情報システムなどの複数のシステムを統合し、森林クラウドシステムとして再構築を行っており、令和4年4月より稼働します。これにより、順次、森林に関する手続きがネット上で行えるようになり、森林整備補助金等の申請がスムーズになることを期待できます。運用のイメージは右図のとおりです。

お問い合わせは、郡上農林事務所 林業課まで
tel:0575-67-1111 (内線251)



郡上市からのお知らせ

【郡上市森林づくりフェアが開催されました！】

郡上市における林業等の魅力発信を目的とした新たな取り組みとして、令和3年12月4日(土)午後、郡上市美並町にある日本まん真ん中センターにて、岐阜県山林協会郡上支部が主催(事務局:市林務課)する郡上市森林づくりフェアが郡上市農業振興大会に併せて開催されました。

フェアでは、(公社)岐阜県森林公社 森のジョブステーションぎふの協力を得て森ジョブステーションin郡上(参加林業事業体:大塚林業(資)、(有)大原林産、郡上里山(株)、(有)古川林業)が開催されたほか、岐阜県森林文化アカデミーや郡上農林事務所の協力を得てハーバスターシミュレーター2台、伐木技術教育VRシミュレーター1台を用いた林業VRシミュレーター体験、(有)古川林業の協力を得た電動アシストマウンテンバイク、E-BIKEの試乗が行われました。

コロナ対策等の関係もあり、イベント開催が困難な時期ではありますが、今後も、関係者の皆様とともに郡上市における林業等の魅力発信に努めていきたいと考えております。



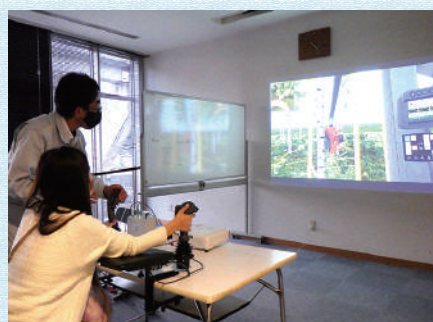
伐木技術教育VRシミュレーターにより事故を疑似体験



森ジョブステーションin郡上



E-BIKEの試乗



ハーバスターシミュレーター体験

木材あるある話 其の六

森林評価士 樋口 享二

スギ・ヒノキ穿孔性害虫被害材(スギノアカネトラカミキリ食害材)
(俗称：枝虫、アリクイ、キリムシ、アカネ材 等)

枝虫(スギノアカネトラカミキリ)の食害は年々エリアを拡大し、その経済的損失は深刻な状況となっています。

スギノアカネトラカミキリは、幼虫がスギ・ヒノキ等の樹幹を食害し「とびくされ」と呼ばれる材の変色や「穿孔痕」で材価を大きく下げます。成虫が初夏に枯枝の粗樹皮部に産卵。幼虫は枯枝内を食い進み樹皮に到達すると節の周りを食害します。食害部に菌が侵入して「とびくされ」となり食い進んだ経路が「穿孔痕」となります。生育幼虫は再び枯枝に戻り、夏～秋に蛹化・羽化するがそのまま越冬して翌春飛び立ちます。



《スギノアカネトラカミキリの成虫》



《スギノアカネトラカミキリの幼虫》

枝虫が問題化してきたのは30年程前で、三重県、和歌山県あたりでの侵食害が深刻化し、ヒノキ食害の無かった岐阜県(あったであろうが問題視されなかった)での原木調達が進むにつれ、県内での食害も言われるようになりました。

三重県、和歌山県など海に近い地域での食害材はアリクイと呼ばれたことで(海岸など霧のよく発生するところに多いと言われる。※石川県では霧虫)、シロアリをイメージさせたことや、耐震偽装事件等で瑕疵保障制度の法制化が進み瑕疵材(くさり、割れ、虫害等)の不使用が厳格化し、「枝虫材は用材としてはダメ、合板用材に」という認識になりました。



《ヒノキ原木の穿孔痕》



《スギ枯枝樹皮部の穿孔痕》



《スギ製品面に出た穿孔痕》

ウッドショックで原木不足が叫ばれる中、枝虫材は見栄えは若干悪いが、強度面では被害のない製品と同等に使用でき、合板を打ちクロス張って見えなくなる部分に使用するなら使っても良いと思います。少しでも欠点があればすべて排除するのではなく、使えるものをうまく使って無駄を無くす。日本の物を大切にす文化で、枝虫材に光が当たることを切に願います。

発行 郡上森林マネジメント協議会

〒501-4223 岐阜県郡上市八幡町稲成525-7

Tel 0575-67-9533 Fax 67-9633 E-mail g-management@wind.ocn.ne.jp